

狭山市立柏原小学校 ICT 授業実践例

1 ジャンル

小学校4年生

道徳

C1 発表や話し合い

児童生徒

2 概要

SKYメニューのポジショニング機能を使い、児童の心情、考えを全体で視覚化できるようにした。その中で全体の傾向や、自己の立ち位置を理解し、考えを深めさせる。

単元(題材)名

いっしょになって、わらっちゃだめだ

単元(題材)目標

自分の置かれた状況についてよく考えて自らを節制し自分も他の人も気持ちの良い生活を送れることの大切さについて考えを深めるようにする。

活用したICT機器、アプリケーション等

SKYメニュー

本時のめあて

「いじめについて考えよう」

写真・記録

本時の展開の概要

- 1.周りの考えに流されて人を傷つけてしまった経験はあるか、アンケート結果を掲示し、周囲に流されて行動してしまう児童が多いことに気づかせる。
- 2.あだ名をつけられている友達、それを周囲で笑っているクラスの児童、これはいじめなのかどうか考えさせる。(タブレットでいじめか否かアンケート)
- 3.主人公の行動の意図を考え、自分ならどうするかを考える。

ICT機器の活用でねらった効果

ICT機器を使用することで、アンケートをスムーズにとることができ、また匿名性であることから反対意見も出しやすいのではないかと考えた。またテーマが「いじめ」のため、本音を出しづらい児童でも、タブレットで匿名であれば自分の本音を出し、素早く結果が出せると考えた。アンケート結果をすぐ出すことができ、周囲の児童の考えと自分の立ち位置が一目でわかる。

児童生徒の様子(成果や課題)

テーマが「いじめについて考える」ということで、児童に挙手をさせると、周囲の雰囲気の流れ、自分の思う本当の意見を言えないのではないかと考えた。ICT機器を使い、アンケートを行うことで、授業中に何度もアンケートを取ることができ、また誰がどの考えなのかかわからないため、児童の本音の回答を得ることができた。すぐにアンケート結果がわかり、どの意見が多いのか、クラスの傾向はどうなのか、自分はどの位置にいるのかということが視覚的にわかるため、児童の本音を引き出し、自己の考えを深めていくことができた。

課題としては、アンケートと同時に児童にコメントを入れてもらおうと思ったが、小学4年生だと文字をスムーズに打てる児童と時間がかかってしまう児童に分かれるため、コメントを入れてもらうことができなかった。また、タブレット、教科書、プリントをすべて使うと机の上がいっぱいになり、作業が難しくなるように思えた。

狭山市立柏原小学校 名前: